

令和2年度 八尾市立リサイクルセンター学習プラザ指定管理者事業報告

I 指定管理者名

特定非営利活動法人グラウンドワーク八尾
代表者 梶田 安彦

II 報告期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日 開館日数 150日

※新型コロナウイルス感染症対策により令和2年4月1日から9月30日まで臨時休館。

III 施設の利用状況

●令和2年度施設来館者数 2,548人

(有料施設使用、施設見学、講座、イベント参加等による来館者の計)

◆月別来館者数◆

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
					95	328	404	323	361	451	586	2,548

※4月から9月末まで臨時休館。9月については、貸室やリユース品の受け取り等一部業務を実施。

●その他館外イベントの参加者数 162人

IV 管理運營業務の実施状況

1. 管理運営全般に関すること

(1) 有料施設の使用の許可に係る業務

利用件数 33件

(2) 利用料金の徴収及び還付等に係る業務

利用料金収入 14,960円

2. 維持管理に関すること

(1) 清掃業務

日常清掃及び定期清掃について仕様書等に基づき適正に実施した。

(2) 施設・設備等点検整備業務

自動ドア保守点検、消防用設備等点検、防火対象物点検について仕様書等に基づき適正に実施した。

(3) 施設警備業務

施設の施開錠、施設内巡視、防犯カメラの管理等警備全般について仕様書等に基づき適正に実施した。

(4) 室内観葉植物管理業務

施設内の観葉植物の定期交換及び管理について仕様書等に基づき適正に実施した。

(5) 修繕・維持補修業務

指定管理者の責任区分の範囲内で実施すべきものについて適宜実施した。

3. 事業の実施に関すること

(1) リサイクルセンター見学対応（見学コース、ごみの3R講座）

例年、学校園及び各種団体等を受入れ、リサイクルセンター見学コースの案内及びごみの3Rの講義等を実施しているが、令和2年度は団体見学をすべて中止し、個人や家族連れのみ受け付けた。

参加者 347人（大人140人、子ども207人）

○学習冊子「ごみはどうなるの？」の作成

例年であれば市内28の小学校4年生の社会見学を受け入れているが、子どもたちに、普段何気なく出しているごみや資源物がどのように収集され、どのように処理され、どこへ運ばれているのかわかりやすくまとめ、ごみを減らす3Rの取り組みやごみが環境に与える影響についても楽しく学習できる冊子を作成した。今後の社会見学等に活用する。ホームページにも掲載。自主学習用資料としても活用できる。

(2) 講座等環境啓発事業

① 3Rをテーマにした市民参加型事業

ごみの3Rの推進をはじめとした環境啓発として、以下のとおり事業を実施した。

㊦ リサイクル体験工房教室

○リサイクルアトリエ（105回開催）

受講者数 638人

（開催教室）大型エコバック、デニムポーチ、和布リサイクル、バケツバッグ、ボタンアクセサリー、レザークラフト、着物リメイク、ペーパークラフト、エコ石鹸作り、ハギレでがま口、立体マスク、和布クラフト、2wayポーチ、新聞ちぎり絵、クラフトパンチ、刺繍で洋服リメイク、ペーパークイリング(初級)、ペーパークイリング(中級)、ハギレリメイク、親子エコ教室、着物リメイク（中級） 全21講座

○リサイクルラボ（19回開催）

受講者数 98人

（開催教室）デニムバッグ、和布クラフト、和布リメイク、レザークラフト、クラフトパンチ、エコラップ 全6講座

④ フリーマーケット

感染予防のため令和2年度は中止した。

② 親子環境学習講座

親子で学ぶ（楽しむ）ことを主眼に置き、子どもたちの冬休み及び春休み期間を利用して体験型の環境学習講座を開催した。

受講者数 11人

（開催教室）カードケース作りと環境問題クイズ

エコラップ作りとごみの行方

エコ石鹸づくりと温暖化

③ めぐる倶楽部（参加者 47人）

「めぐる倶楽部」はリサイクルアトリエの受講者を対象に、新たな作品づくりの機会を提供し、工房教室をはじめ参加者同士の活性化を目的に実施した。

④ 「ゆずります・ゆずってくださいコーナー」の企画・運営

（利用者数 872人）

リユースの促進として、小型の家具、衣類、雑貨類等使用可能なものを譲り受け、希望する者に無償で譲り渡す事業を実施した。感染予防対策として利用点数を制限する等の対策をとった。

⑤ 館外イベント

○環境学習支援事業（出前授業 実施回数2回）

小学校4年生を対象に出前授業を実施した。

○ビオトープ交流会活動（実施回数4回 参加者162名）

地域の農園や学校と連携し、さつまいもや落花生などの植え付け、収穫体験等を実施した。

⑥ その他事業

○家族で工場見学ツアー

環境DVDをはじめ収集された資源ごみやプラごみの行方を見学。通路の壁には、環境をテーマにした「○×クイズ」があり、家族で挑戦できるイベントを実施した。

○工場見学とクリスマスリース作り（12月5日、6日 参加者10名）

工場見学と廃材を使ったリース作りを実施した。

○プラごみゼロやお発信（10月～3月）

プラスチックごみを減らす取り組みとして、SNSで「#プラごみゼロやお」のタグを付け、多くの方に発信していただくことによって、環境問題へ関心に繋がることを目的に実施した。

○ハンドメイド作品抽選会（2月7日 参加者10名）

リサイクル活性化のため、工房講師手作りの蜜蝋エコラップ、デニムバッグ、革のハサミケースなど気に入った作品の抽選会を実施した。

- ミシンの使い方説明会（3月3日 参加者1名）
リサイクル技術の普及のため家庭用電動ミシンの使い方学習会を実施した。
- ベビー用品抽選会（3月13日 参加者16名）
市民の方々からゆずって頂いたベビー用品の抽選会を開催した。
- 環境学習DVD上映会（3月30日 参加者2名）
環境DVDを上映し、3Rと温室効果ガスの抑制について意見交換をした。
- リユース推進活動
多くの市民にリユース推進活動に参加いただくため、リユース品を活用した「ベビー用品コーナー」や「ゆずってくださいフェア」を開催した。
 - ・ベビー用品リユース促進（1月15日から2月28日まで 参加者12名）
 - ・ゆずってくださいフェア（3月27日・28日 参加者12名）
- おもちゃの病院（参加者数 195人）
10月から毎月第1土曜日に壊れたおもちゃを修理して、3Rの啓発につなげるイベントを実施した。

(3) 広報・周知及び情報提供

●施設、行事案内等の広報

- ・市政だよりへの行事案内の掲載。
- ・環境情報誌「河内の風」（環境アニメイティッドやお発行）に記事掲載。
- ・FMちゃおの取材、J-COM番組出演。

●ポスター、パンフレット、チラシの作成等

- ・「めぐる通信」発行（年4回発行）
- ・出張所や図書館・最寄り駅でのパンフレット・チラシ等配架、ポスター掲示の適宜実施した。

●ホームページ等を活用した情報発信

- ・休館期間を利用して、ホームページのリニューアルを行い、検索しやすく内容の充実を図った。動画コンテンツ掲載等。
- ・フェイスブック・ツイッター・インスタグラムを活用し、各教室の紹介や参加者の作品紹介、環境問題、啓発イベントを投稿し、常にフレッシュな情報発信に努めた。

（投稿数）

- ・フェイスブック 189件
- ・インスタグラム 125件
- ・ツイッター 65件

(4) めぐるサポーター（市民ボランティア）の活用

登録者数 22人、活動実績 延べ57人（参加人数の合計）

- ・施設見学他、各種イベント開催時のサポート等。

※令和2年度は施設見学やイベントが中止となり活動実績は少なかったが、勉強会等を開催した。

4. その他の主な実施事項

●仕様書等に基づくその他の業務

- ・太陽光発電の統計記録の作成、ニッポンバラタナゴの飼育等を適正実施した。

●リスクマネジメント

- ・消防訓練を実施した。(2回)
- ・賠償責任保険、ボランティア保険への加入。

●環境マネジメント

- ・照明及び空調設備使用の適正管理、事務用紙の裏紙使用の徹底、周辺清掃活動等の環境改善活動を実施した。

●サービス向上と効率的な管理運営

- ・「学習プラザ運営委員会」を設置し、毎月1回定例会を開催した。

5. コロナ禍における事業について

(1) 安全安心な施設づくり

- ・危機管理規定を設けてガイドラインに基づき徹底した3密回避の対策を実施。
- ・マスク着用の徹底。人との距離をとる。大声で話をしない等のルール順守。
- ・消毒液と非接触探知機の設置。
- ・こまめな換気、送風機の稼働。
- ・エレベータの利用をできるだけ控えていただき、階段や教室では入口と出口の導線を分ける。
- ・定員の制限。
- ・パーティションの設置と使用後の消毒。
- ・不特定多数の来場者が集まるイベントの実施自粛。

(2) WEBを用いた情報発信

- ・ホームページのリニューアル。
- ・SNSを通じた情報発信。
- ・啓発動画作成。

(3) その他

- ・施設展示パネルの充実。(SDGsや「やおプラスチックごみゼロ宣言」の展示等。
- ・学習用冊子「ごみはどうなるの?」の作成。

V 管理運営経費の収支状況

[収入の部]

(円)

科目	金額	内容
指定管理料	21,306,300	
利用料金	16,520	施設利用料
事業収入	77,200	イベント参加費等
その他収入	49	預金利息
合計 (A)	21,400,069	

[支出の部]

(円)

科目	金額	内容
人件費計	13,106,689	給料、賃金、福利厚生費等
事業経費計	1,382,853	
報償費	521,172	講師謝礼等
需用費	491,517	工房用消耗品費、印刷製本費等
役務費	361,164	通信運搬費、手数料、保険料
使用料及び賃貸料	0	バス借上げ料
負担金	9,000	研修等参加負担金
維持管理経費計	3,688,019	
需用費	953,570	消耗品費、修繕費
委託料	724,880	清掃、観葉植物管理、設備保守点検等
使用料及び賃貸料	74,272	テレビ聴視料、モップ・マット使用料等
備品購入費	570,096	事務用備品等
租税公課	1,365,201	消費税、収入印紙
その他		
精算額	3,082,234	修繕料、バス借り上げ料等精算額
合計 (B)	21,259,795	
差引 (A-B)	140,274	